

■ 開発料金の仕組み

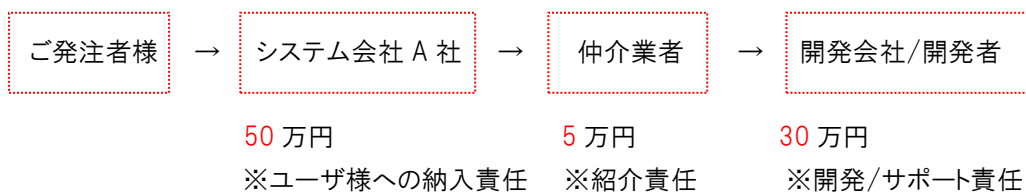
大規模システム案件の場合は、要件定義とりまとめにはじまり、設計/開発プロセスを経るなか、営業コストなど、多くの人材が案件対応にかかわるため、開発コストは必然的に高額となります。

このようなケースでは、システムが複雑になり、継続利用におけるメンテナンスリスクも高まるため、すべてを一手に担う、大手システム会社が有利となりますが、Excel ベースでの業務効率化の多くは、小規模な場合が大半なため、開発会社を選定の際は、システム会社の得意分野を十分吟味することをオススメいたします。

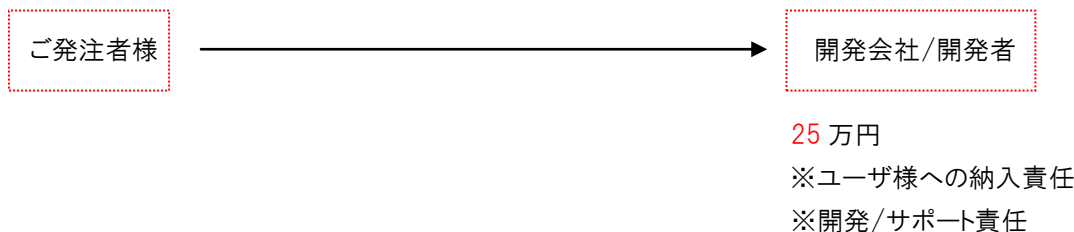
Excel 中心で行っている業務なら、案件の大半は2～3週間で開発/納入可能なケースも多いのですが、一般的に、中堅クラス規模のシステム会社ともなれば、あまりに低料金な開発は組織上、採算が取れないため、新規開発はもちろん、納入後の部分修正でさえも、最低料金はどうしても一定額に達してしまうものです。

以下は、システム会社への発注依頼を行った場合の発注フローの一例ですが、システムの規模を見極め、発注先を選定いただくことで、同等の品質でありながら納入価格に大きな差が生じてしまうため、コスト削減においては、様々な角度から、発注メリットを検証いただくことも大切なポイントです。

【一般的なシステム開発の流れ(一例)】



【直発注の例】



お気づきでしたか？

同一の要件にもかかわらず、直接受注する場合(25 万)と複数者が介在する場合(30 万)で若干料金に差が生じていることを。これは、ご発注者様と直接お打ち合わせを行えないための様々なリスクをまかなうべくコストが保険料として発生しているのです。

伝言ゲームではありませんが、A 社→B 社→C 社→D 社に、正しい情報が迅速に伝わる可能性は介在する会社が多いほど、心配の種も増えることとなります。一方、ご発注先様と直接お打ち合わせが可能な場合は、分かりやすく言えば、何をおいても「話が早い」ということなのです。全てにおいて行き違いも無く、スピーディーに進行可能であり、余計なフローが存在しない分、リスクも少なくなるため、料金提示も必然的に下げることができるのです。

とはいえ、開発会社を選定の際は、日頃からお付き合いのある会社様へ最初の相談を行うことが一般的ですので、料金が見合わない、といったことが無い限り、コストよりも安心感や実績を重視するというのも多いでしょう。

上記はあくまで一例をもとにしたものですので、ご参考までにご覧いただければと思いますが、「直接発注のリスクをカバーできる小規模システム」などの場合は、検討の余地もあるのではないのでしょうか。

■参考価格について

資料データを送付いただき、電子メール、お電話など、ご訪問打ち合わせ無しで、概要が把握可能であり、仕様細部が確定可能な内容であれば、**3**万円からご対応させていただきます。また、価格を決定づける要素としては、以下が3大要素となります。

- (1)基本/概要/詳細設計に必要となる時間
- (2)入出力ファイルの点数
- (3)画面/帳票レポートの種類/点数

ご不明な点や、お困りの点がございましたら、お気軽にご相談いただければ幸いです。

株式会社セルネッツ TEL:03-5336-8891